

## 研究室 からの メッセージ 178

Data(2020年12月現在)

所在地 〒339-8555 埼玉県さいたま市岩槻区  
太田字新正寺曲輪354-3  
スタッフ 土平俊子(教授)、福井美貴(講師)  
URL www.human.ac.jp



# 人間総合科学大学保健医療学部看護学科 地域看護学

## History and Now

### どのような機関なのでしょう？

学校法人早稲田医療学園は、1953(昭和28)年に東京カトリック学院として誕生。その後、2000(平成12)年に現在の人間総合科学大学が開学。2011(平成23)年に岩槻キャンパスに保健医療学部看護学科、リハビリテーション学科(理学療法専攻/義肢装具専攻)を開設しました。

学部の教育の特色は、医療人としての「自立」と「共生」の精神を併せ持つ職業能力の育成で、本部のある蓮田キャンパスの人間科学部には、健康栄養学科とヘルスフードサイエンス学科があり、大学として、生涯健康で豊かな地域社会に貢献する、「こころ」「からだ」「文化」を総合的・科学的に捉える教育を目指しています。

## Education

### どのような教育をしていますか？

「地域看護学領域」では、3年次からの保健師選抜制(定員の2.5割)の前の2年次には、全学生必修として、「地域看護学概論」「地域看護活動論」を配し、看護師と保健師の活動で、切れ目なく看護支援を学ぶカリキュラムとなっています。

3年次前期に、保健師必修科目として、「公衆衛生看護活動論」「公衆衛生看護技術論」「公衆衛生看護管理論」「産業看護論」「学校看護論」、4年次前

期にトピックスを中心とした「健康看護論」、後期の公衆衛生看護学実習5単位(保健所、市町村、地域包括支援センター、学校または地域精神)を設け、将来を見据えてエビデンスを基にした実践力を備えた保健師職の養成を目指しています。

今後の展望として、入学後早期に2日間でも地域での実習を導入することができればと考えており、これにより「生活」を視点に置いた入退院前後を含めた「地域包括ケア」が行える看護職の育成につながると考えます。

## Research

### どのような研究をしていますか？

教員の研究テーマは、おのおの「中高年のメンタルヘルスと生きがい創生」「単身高齢者の自立的生活の継続要因に関する研究」「ダンスやムーブメントによる成人期のメンタルヘルスや、高齢者介護予防に関する研究」を中心に取り組んでいます。

## Collaboration

### 保健活動の現場とのつながりは？

2018年度は、県内の1市と協働して「地域の高齢者の生活上の課題や希望を調査するため、住民参加型のワークショップ」を開催し、地域ケア推進の取り組みに関する連携事業を行うなど、地域との協力体制づくりに重点を置いており、人々の保健と安寧に貢献すべく保健師教育に取り組んでいます。

## ひとこと

2020(令和2)年は、100年に一度と言われる感染症の新型コロナ禍の中での実習を通し、学生は、健康について、公衆衛生の視点の重要性を学んだ年でもあります。今後、「人間の力を信じ」、自分の住む町と日本そして、世界の情勢を、「同時に考え」「行動する」「視野の広い」医療人に学生が育つことを願います。

土平

あなたの  
研究室を  
紹介して  
ください!

保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。  
応募方法 電話、FAX、E-mailのいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。  
連絡先 医学書院「保健師ジャーナル」編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 メール hokenshi@gigaku-shoin.co.jp